

名古屋市の保健所で実施された MSM (Men who have Sex with Men) を対象とした HIV 抗体検査会参加者の特性に関する研究

研究協力者：新ヶ江章友（名古屋市立大学看護学部／財団法人エイズ予防財団）、金子典代、
市川誠一（名古屋市立大学看護学部）、石田敏彦、藤浦裕二（ANGEL LIFE NAGOYA）、
内海眞（国立病院機構名古屋医療センター）

研究要旨

名古屋市では、2009（平成 21）年にゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした無料 HIV 抗体検査会が、名古屋市の保健所を利用して実施された。一つは、2009（平成 21）年 9 月に実施された NLGR (Nagoya Lesbian & Gay Revolution) 2009 代替検査会（新型インフルエンザの影響で、6 月に実施予定であった NLGR2009 イベント会場に併設の無料 HIV 抗体検査会が延期となり、代わりに検査会のみが 9 月に名古屋市の保健所で実施された）であり、もう一つは 2009（平成 21）年 12 月に実施された M 検である。本研究では、両検査会に参加した検査受検者に対して質問紙調査を行い、HIV/STI 予防に関する知識・行動や予防啓発プログラムへの接触状況、HIV 抗体検査受検率などについて調査した。NLGR2009 代替検査会では検査受検者 107 人中 107 人からの回答を得られ（回収率 100%）、M 検では検査受検者 73 人中 73 人からの回答を得られた（回収率 100%）。また、東海地域に居住する MSM については、以下の結果を得た。

1) 代替検査会と M 検における受検者の特性について

代替検査会は 9 月に実施されその 3 ヶ月後の 12 月に M 検が実施されたが、M 検受検者のうち過去 1 年間に受検したもの (n=52) の 46% (n=24) が代替検査会での検査会に参加していた。今回の検査会が生涯初めての検査だったものの割合は、代替検査会は 13% (n=14)、M 検は 7% (n=5) であった。2008（平成 20）年 12 月に保健所で実施された M 検受検者における HIV 抗体陽性率は 5.4% だったのに対し、2009（平成 21）年 9 月の代替検査会では 4.7%、12 月の M 検では 1.4% であった。保健所での検査会参加者のうち、定期的に検査を受検しているものが半数を占めるため、今後はこれまでに HIV 抗体検査を受検したことがない人々の利便性も考慮した検査会をさらに構築していく必要がある。

2) 保健所での HIV 検査会検査受検者と NLGR2009 イベント会場来場者と特性の比較について

2009（平成 21）年 6 月に実施された NLGR2009 のイベント会場に来場した人々に PC を使用したアンケートを行い、485 人からの有効回答を得られた。このイベント会場来場者群と、9 月と 12 月に実施した保健所での検査会利用者群を比較し、両群の特性を明らかにした。生涯の HIV 抗体検査受検経験は保健所検査会利用者で有意に高かった（保健所検査会 88%；NLGR2009 イベント会場 74%、 $p=0.001$ ）。過去 6 ヶ月間に使用した施設等としては、ゲイバー利用は NLGR2009 イベント会場来場者が有意に高く（保健所検査会 39%；NLGR2009 イベント会場 53%、 $p=0.001$ ）、ソーシャルネットワーク mixi の利用も NLGR2009 イベント会場来場者が有意に高かった（保健所検査会 38%；NLGR2009 イベント会場 73%、 $p<0.001$ ）。HIV 感染リスク認知に関しては、NLGR2009

イベント会場来場者がこれまで HIV に感染するリスクが絶対なかった、あるいはほとんどなかったと答えたものの割合が高かった ($p < 0.001$)。性行動に関しては、特定相手/その場限りの相手とのタチ/ウケ時において、両群間に有意差は見られなかった (特定相手タチ $p = 0.288$; 特定相手ウケ $p = 0.242$; その場限りタチ $p = 0.562$; その場限りウケ $p = 0.170$)。イベント会場来場者と検査会利用者では行動特性が異なっており、とりわけイベント会場来場者に対しては、さらに有用な HIV 予防啓発資源を提供していく必要があることが示唆された。

A. 研究目的

本研究の目的は、名古屋市で 2009 (平成 21) 年 9 月に実施された NLGR2009 (Nagoya Lesbian & Gay Revolution) 2009 代替検査会と (以下、代替検査会とする)、12 月に実施された M 検 (以下、M 検 2009 とする) の検査受検者の特性について明らかにし、その上で、今後名古屋市を中心とした東海地域に在住する MSM (Men who have Sex with Men) に対する効果的な HIV/AIDS の予防啓発と、彼らにとって利便性の高い HIV 抗体検査体制を構築するためのデータを提供すること。

B. 研究方法

本調査は、名古屋市で HIV 予防啓発活動を行っている ANGEL LIFE NAGOYA (ALN) の協力により、3 つの質問紙調査を行った。

1 つ目の質問紙調査は、名古屋市千種保健所で 2009 (平成 21) 年 9 月 12 日 (土)、13 日 (日) に名古屋市主催の代替検査会で実施された。本調査の参加者は、9 月 12 日の採血の後に実施された質問紙調査に任意で参加した。調査の方法は、まず訓練を受けたスタッフが受付にて検査 ID が記入された質問紙を手渡した。その後、HIV 抗体検査のための採血が行われ、検査受検者は採血後にアンケート回答用に確保されたスペース内で質問紙に回答した。質問紙記入後には回収箱にて回収を行った。質問紙の項目内容は、基本属性、検査行動、保健所・地方自治体の実施する検査の受検や利便性、過去 6 ヶ月間の性行動、予防行動、感染リスク認識などであり、計 32 問とした。HIV 抗体検査受検者数 107 人中 107

人が質問紙調査に参加し、回収率は 100% であった。

2 つ目の質問紙調査も代替検査会と同様、名古屋市千種保健所で 2009 (平成 21) 年 12 月 5 日 (土)、6 日 (日) に行われた M 検 2009 で実施された。本調査の参加者は、12 月 5 日の採血の後に質問紙調査に任意で参加した。調査の方法は、代替検査会の無料 HIV 抗体検査会と同様の方法を採用した。質問紙の項目内容も、NLGR2009 の受検者との比較を行うため、一部変更部分もあるがほとんど同様のものを採用し、計 32 問とした。HIV 抗体検査受検者数 73 人中 73 人が質問紙調査に参加し、回収率は 100% であった。

3 つ目の調査は、NLGR2009 のイベント会場であった池田公園内で 2009 年 6 月 6 日 (土)、7 日 (日) の 2 日間行われた。本調査では、会場内にアンケートを搭載した PC を合計 7 台 (テントブースに 5 台、NGO ブースに 1 台、コミュニティセンター rise に 1 台) 設置した。6 日 (土) は 13 時から 20 時まで、7 日 (日) は 13 時から 16 時まで調査を実施した。イベント会場では調査協力のためのちらしを配布した。PC 調査に参加したもののうち 10 名に iPod が抽選で当たるというシステムを採用し、調査参加者全員に NLGR2009 オリジナルのエコバックを提供した。質問項目の内容は、基本属性、検査行動、保健所・地方自治体の実施する検査の受検や利便性、過去 6 ヶ月間の性行動、予防行動、感染リスク認識などであり、計 21 問とした。6 日 (土) の会場来場者数はのべ 2274 人で、そのうちの 331 人が PC 調査に参加し、7 日 (日) の会場来場者数

はのべ810人で、そのうちの180人がPC調査に参加した。回答者数は511人で、そのうちの有効回答数は485人(95%)であった。

本質問紙の内容に関しては、1) 代替検査会とM検における受検者の特性について、2) 保健所でのHIV検査会検査受検者とNLGR2009イベント会場来場者と特性の比較についての二つの分析を行った。分析対象者は東海地域に在住するMSMに限定した(代替検査会 n=105; M検2009 n=71; NLGR2009 イベント会場 n=284)。

データの集計および統計処理には、SPSS11.5J(Windows)を用いた。分析でクロス集計を行う際にはカイ二乗検定を用い、有意水準は5%を採用した。

なお、本研究実施計画については、名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より、実施の承諾を得た(ID番号:08002)。

C. 研究結果

1) 代替検査会とM検における受検者の特性について

①基礎属性

代替検査会の受検者の平均年齢は40.0(SD±19.7)歳であった。また、M検2009の受検者の平均年齢は39.7(SD±17.9)歳であった(図1)。

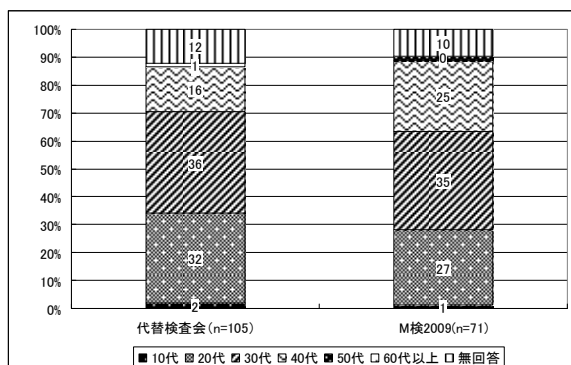


図1 年齢

代替検査会の受検者の居住地は、名古屋市が45%(n=47)、名古屋市を除く愛知県が43%(n=45)と、愛知県居住者は全体で88%

(n=92)であった。

M検2009の受検者の居住地は、名古屋市が65%(n=46)、名古屋市を除く愛知県が25%(n=18)と、愛知県居住者は全体で90%(n=64)であった(図2)。

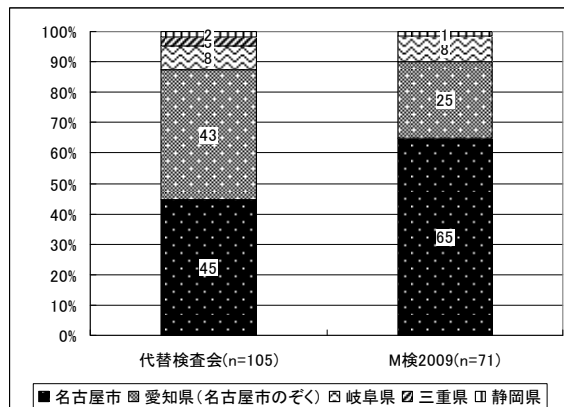


図2 居住地

代替検査会の受検者の性的指向は、男性同性愛者(ゲイ)は85%(n=89)、両性愛者(バイセクシュアル)は15%(n=16)であった。

M検2009の受検者の性的指向は、男性同性愛者(ゲイ)は77%(n=55)、両性愛者(バイセクシュアル)は21%(n=15)、決めたくないは1%(n=1)であった。

M検2009の受検者のほうが、自らを両性愛者だと答えるものの割合が若干高かった(図3)。

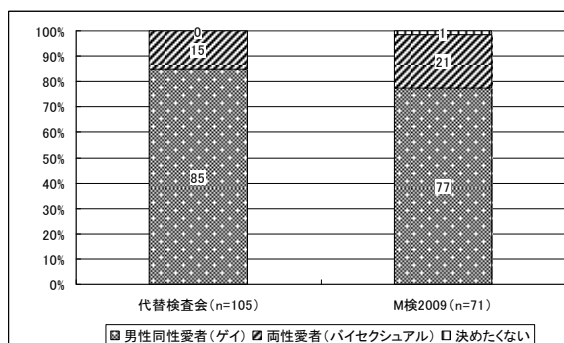


図3 性的指向

代替検査会の受検者の結婚歴に関しては、結婚歴ありのものが8%(n=8)であった。うち、女性との結婚経験のあるものは6人だった。

M 検 2009 の受検者の結婚歴に関しては、結婚歴ありのものが 3% (n=2) であった。うち、女性との結婚経験のあるものは 2 人だった (図 4)。

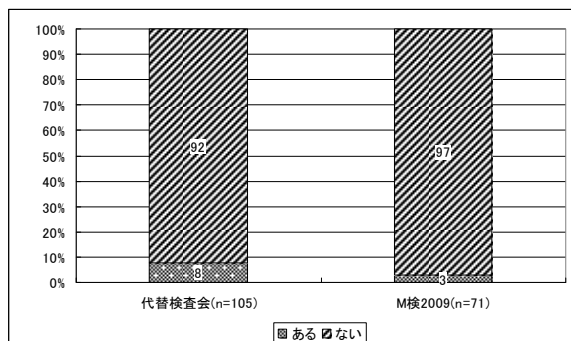


図 4 結婚歴

② HIV 抗体検査受検行動

代替検査会での検査受検者のうち、これまでに HIV 抗体検査を受検したことがあると答えたものの割合は全体の 87% (n=91) であり、受検回数の平均は 4.8 (SD±5.4) 回であった。過去 1 年間に受検したことがあると答えたものの割合は 66% (n=69) であった (図 5)。代替検査会受検者のうち、代替検査会が生涯初めての検査だったものは 13% (n=14) であった。これまでに検査経験があったもの (n=77) と比較すると、生涯初の検査だったもの (n=14) は年齢の若い 10 代から 20 代の割合が高く (p<0.001)、性的指向は両性愛者 (バイセクシュアル) だったものの割合が 36% (n=9) と高かった (p=0.022)。また、過去に性感染症に罹患したことがあるもの (n=44) のほうが、罹患したことがないもの (n=60) に比べて、生涯での HIV 抗体検査受検率が高かった (罹患あり 96%: 罹患なし 80%、p=0.023)。

M 検 2009 での検査受検者のうち、これまでに HIV 抗体検査を受検したことがあると答えたものの割合は全体の 93% (n=66) であり、受検回数の平均は 5.1 (SD±6.1) 回であった。過去 1 年間に受検したことがあると答えたものの割合は 73% (n=52) であった (図 5)。M

検 2009 受検者のうち、M 検 2009 が生涯初めての検査だったものは 7% (n=5) であった。生涯での検査経験ありのもの (n=66) と比較すると、生涯初の検査だったもの (n=5) は年齢の若い 10 代から 20 代の割合が高かった (p=0.007)。また、過去に性感染症に罹患したことがあるもの (n=36) のほうが、罹患したことがないもの (n=35) に比べて、生涯での HIV 抗体検査受検率が高かった (罹患あり 100%: 罹患なし 86%、p=0.019)。

M 検 2008 での生涯初の検査だったものの割合が 26% (n=24) であったことと比較すると、代替検査会、M 検 2009 とともに、生涯初の検査であったものの割合は年々減少している。また、過去に性感染症に罹患経験のあるもののほうが、これまでに HIV 抗体検査を受検している割合が高かった。

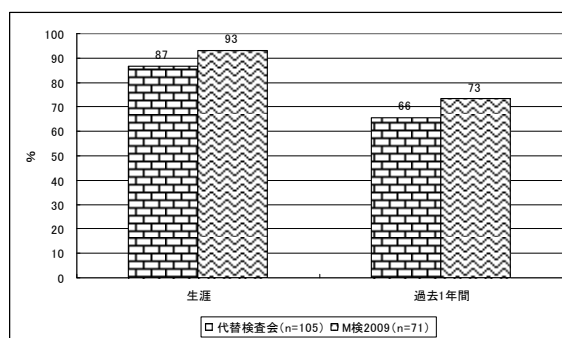


図 5 HIV 抗体検査受検経験

代替検査会での検査受検者で、これまで HIV 抗体検査を受検したことがあるもの (n=91) のうち、これまでに受検した場所としては、NLGR での HIV 検査会と答えたものの割合が 60% (n=55) で最も高かった。

M 検 2009 での検査受検者でこれまで HIV 抗体検査を受検したことがあるもの (n=66) のうち、これまでに受検した場所としては、NLGR での HIV 検査会と答えたものの割合が 72% (n=46) で最も高かった (図 6)。

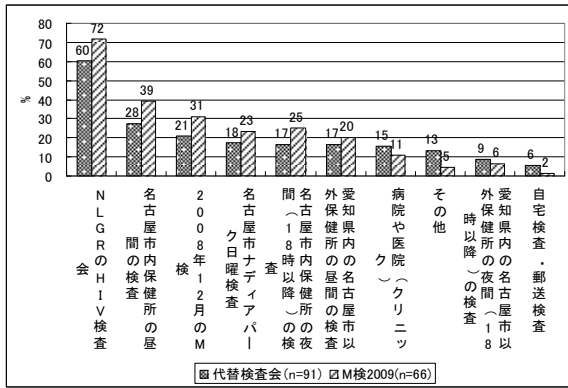


図6 生涯でのHIV検査受検場所(複数回答)

代替検査会での検査受検者で、過去1年間にHIV抗体検査を受検したことがあるもの(n=69)のうち、過去1年間にHIV抗体検査を受検した場所としては、2008年12月実施のM検が38%(n=21)で最も高かった。

M検2009での検査受検者で、過去1年間にHIV抗体検査を受検したことがあるもの(n=52)のうち、過去1年間にHIV抗体検査を受検した場所としては、代替検査会と答えたものの割合が46%(n=24)と最も高かった(図7)。

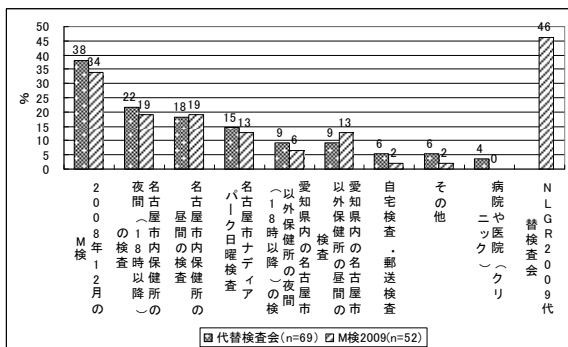


図7 過去1年間でのHIV検査受検場所(複数回答)

③検査機関の利便性

保健所検査の利便性について、代替検査会受検者のうち、保健所の検査が利用しにくいと答えたものの割合は29%(n=30)で、M検2009受検者では35%(n=25)であった(図8)。

保健所検査の利用しにくさに関しては、利用しにくいと答えたものの割合は、2005(平

成17)年のNLGRでは56%、2006(平成18)年は31%、2007(平成19)年は35%であった。保健所での検査の利便性に対する評価に対して、経年的な変化は見られなかった。

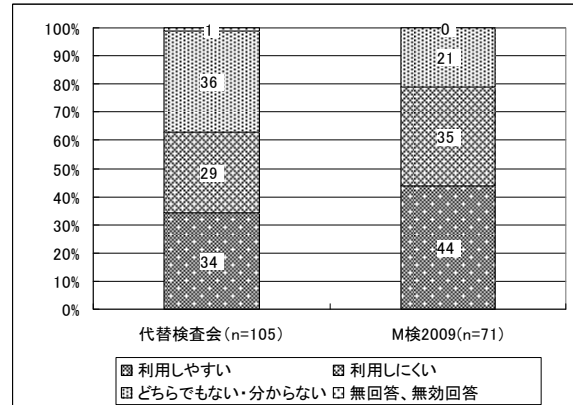


図8 保健所でのHIV検査の利便性

保健所検査が利用しにくい理由について、代替検査会受検者では、検査日が限られているからが62%(n=43)で最も高く、検査時間が限られているからが52%(n=36)であった。

またM検2009受検者のうち、検査日が限られているから、検査時間が限られているからが78%(n=55)で最も高く、検査通知までが長いのが40%(n=16)であった。

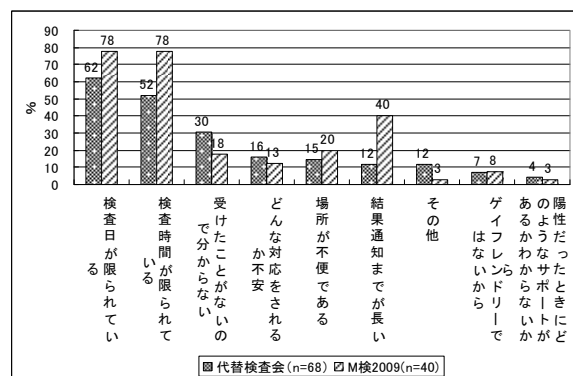


図9 保健所での検査が利用しにくい理由(利用しにくい、どちらでもない・分からないと答えたもののうち、複数回答)

HIV抗体検査場所を選ぶ上で重要だと思うことについて、代替検査会受検者のうち、行きやすい時間帯に検査が行われているが69%(n=72)で最も高かった(図10)。代替

検査会が生涯初めての検査だったもの(n=14)とこれまで検査経験があったもの(n=77)を比較すると、生涯初の検査だったものは、ゲイが多く受検する環境を希望している割合が高かった(生涯初 77%:検査経験あり 29%、 $p=0.001$)。

また M 検 2009 の受検者のうち、行きやすい時間帯に検査が行われているが 79% (n=55) で最も高かった(図 10)。M 検 2009 が生涯初めての検査だったもの(n=5)とこれまで検査経験があったもの(n=66)とを比較すると、生涯初の検査だったものは、ゲイが多く受検する環境を希望している割合が高かった(生涯初 80%:検査経験あり 29%、 $p=0.020$)。

これらの結果から、検査に行きやすい時間帯を設定することが検査の利便性にとって最も重要であることが分かった。また、検査会が初の受検経験となるものにとっては、ゲイが多く受検する環境を希望していることも分かった。

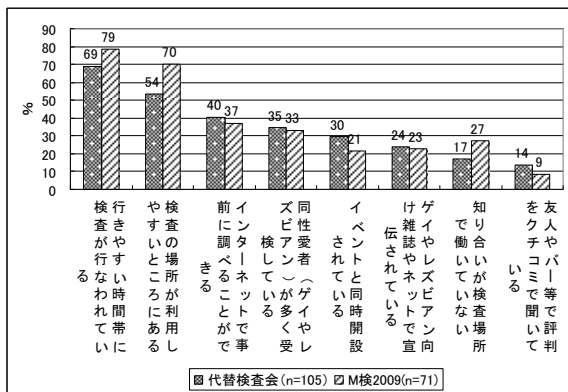


図 10 HIV 検査場所を選ぶポイント(複数回答)

④無料 HIV 抗体検査会の認知と受検理由

代替検査会受検者のうち、代替検査会をどこで知ったかについては、mixi で見たが 30% (n=31) で最も高かった。M 検 2009 受検者のうち、M 検 2009 をどこで知ったかについては、携帯電話のサイトで見たが 35% (n=25) で最も高かった(図 11)。これらの結果から、mixi やゲイ向け SNS、または出会い系サイトなど

のインターネットから、今回の検査会に関する情報を得たものの割合が高かったということが分かった。

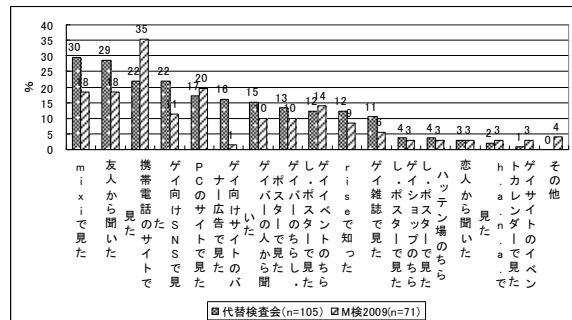


図 11 無料 HIV 検査会をどこで知ったか(複数回答)

代替検査会受検者のうち、代替検査会に参加した理由について、他の人に感染させたくないからが 51% (n=53) で最も高く、定期的に検査を受けているからが 46% (n=48) であった(図 12)。代替検査会が生涯初の検査だったもの(n=14)と、これまでに検査経験があるもの(n=77)を比較すると、他人に感染させたくないから(生涯初 86%:検査経験あり 45%、 $p=0.005$)、友達と一緒に受けるから(生涯初 36%:検査経験あり 8%、 $p=0.002$)、ただ単に知りたいから(生涯初 71%:検査経験あり 28%、 $p=0.001$)が有意に高かった。

M 検 2009 受検者のうち、M 検 2009 に参加した理由について、定期的に検査を受けているからが 61% (n=43) で最も高かった(図 12)。今回の検査会が生涯初の検査だったもの(n=5)と、これまでに検査経験があるもの(n=66)を比較すると、情報に触れて心配になったから(生涯初 60%:検査経験あり 5% $p<0.001$)、HIV 感染者が増加しているから(生涯初 60%:検査経験あり 6%、 $p<0.001$)、コンドームをしないアナルセックスをしたから(生涯初 80%:検査経験あり 18%、 $p=0.001$)、コンドームをしないオーラルセックスをしたから(生涯初 80%:検査経験あり 35%、 $p=0.045$)が有意に高かった。

これらの分析から、自らの性行為によって感染不安になり検査受検しているものが、今回の検査会が生涯初の検査だったものにおいて高かったことが分かった。また HIV/AIDS に関する様々な情報に触れたことから、検査を受検したという背景も分かった。

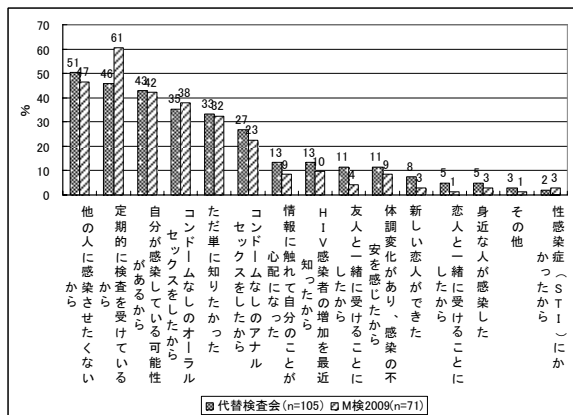


図 12 無料 HIV 検査会に参加した理由 (複数回答)

⑤性行動

過去 6 ヶ月間の男性との性経験 (フェラチオ、アナルセックス、リミング) について、男性との性経験があったと答えたものの割合は、代替検査会受検者は 96% (n=101)、M 検 2009 受検者は 94% (n=67) であった (図 13)。

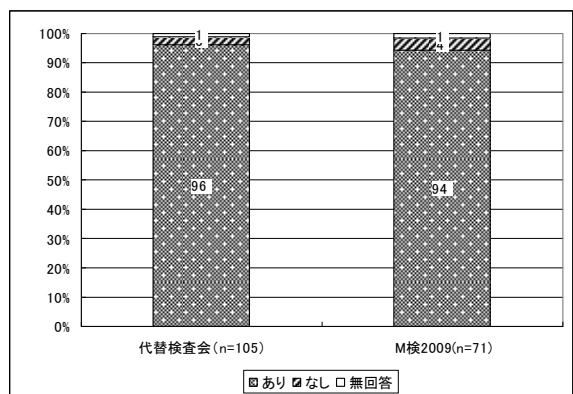


図 13 過去 6 ヶ月間の男性との性経験

また、過去 6 ヶ月間の女性との性経験について、女性との性経験があったと答えたものの割合は、代替検査会受検者は 4% (n=4)、M 検 2009 受検者は 3% (n=2) であった (図 14)。

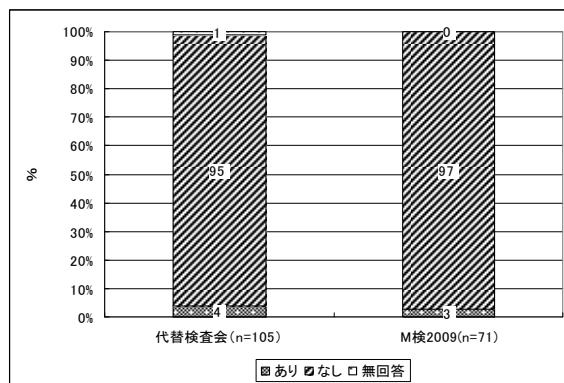


図 14 過去 6 ヶ月間の女性との性経験

過去 6 ヶ月間のセックスのときの併用品について、代替検査会受検者で過去 6 ヶ月間に男性とセックスをしたことがあるもの (n=101) のうち、ラッシュの使用は 13% (n=13)、5MEO の使用は 2% (n=2) であった。

また M 検 2009 受検者で過去 6 ヶ月間に男性とセックスをしたことがあるもの (n=67) のうち、ラッシュの使用は 4% (n=3) であった (図 15)。

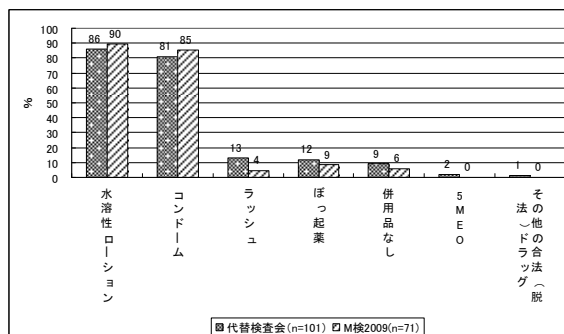


図 15 過去 6 ヶ月間における、セックス時の併用品

過去 6 ヶ月間に利用した施設等に関して、代替検査会での受検者のうち、携帯電話の出会い系サイトと答えたものの割合が 51% (n=53) と最も高く、一方、M 検 2009 受検者のうち、mixi と答えたものの割合が 47% (n=33) と最も高かった (図 16)。また、男性同性愛者 (ゲイ) に比べて、両性愛者 (バイセクシュアル) はゲイバーを利用するものの割合が有意に低かった (ゲイ 42%; バイセク

シユアル 6%、 $p=0.006$).

経年的に見て、出会い系サイトやmixi等のインターネットを媒介としたネットワークの利用は年々高くなっている一方、ゲイバーの利用は年々減少していることも分かった (NLGR2005:81%、NLGR2006:73%、NLGR2007:44%、NLGR2008:51%)。

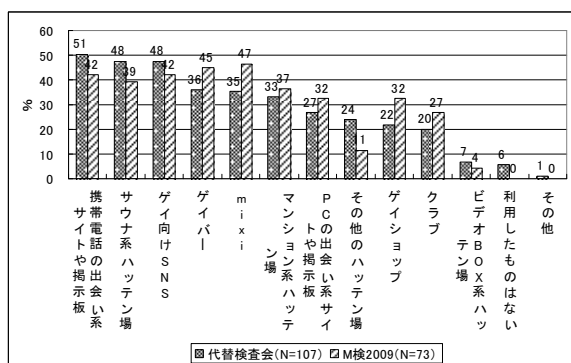


図 16 過去 6 ヶ月間に利用した施設等 (複数回答)

過去 6 ヶ月間の屋内系ハッテン場 (サウナ系、マンション系、ビデオ BOX 系) の利用に関して、利用したことがあると答えたものの割合は、代替検査会での受検者では 69% (n=72)、M 検 2009 での受検者では 58% (n=41) であった (図 17)。

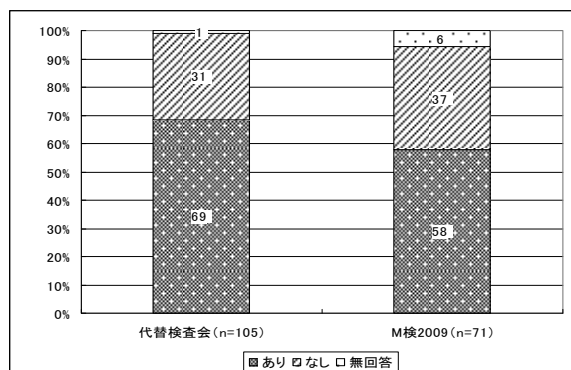


図 17 過去 6 ヶ月間の屋内系ハッテン場の利用経験

また、過去 6 ヶ月間の屋内ハッテン場の利用回数に関しては、代替検査会での受検者が平均利用回数 6.3 (SD±7.7) 回で、M 検 2009 での受検者が平均利用回数 4.7 (SD±5.7) 回

であった。

⑥HIV/STI 感染予防行動とリスク認知

過去 6 ヶ月間の特定相手とタチ (挿入する側) のときのコンドーム使用状況について、代替検査会での受検者のうち、特定相手とタチ (挿入する側) の性行為を行ったものは 57 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率 (コンドームを必ず使ったと答えた人の割合) は 53% (n=30) であった。

また M 検 2009 での受検者のうち、特定相手とタチ (挿入する側) の性行為を行ったものは 43 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 56% (n=24) であった (図 18)。また M 検 2009 での受検者のうち、過去に性感染症に罹患したことがあるもの (n=20) のほうが、罹患したことはないもの (n=23) に比べて、コンドーム常用率が有意に低かった (罹患あり 35%: 罹患なし 74%、 $p=0.010$)。

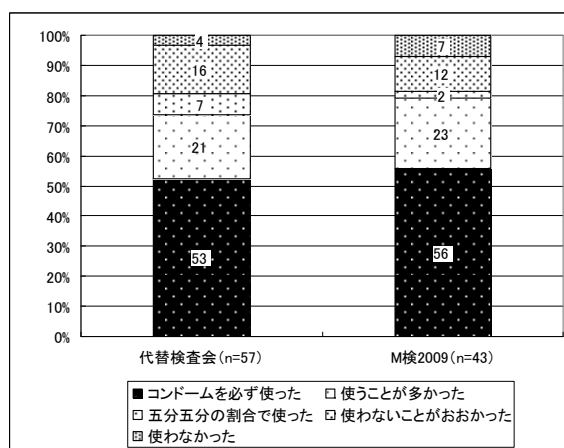


図 18 特定相手とタチ (挿入する側) のときのコンドーム常用率

過去 6 ヶ月間の特定相手とウケ (挿入される側) のときのコンドーム使用状況について、代替検査会での受検者のうち、特定相手とウケ (挿入される側) の性行為を行ったものは 55 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 49% (n=27) であった。

また M 検 2009 での受検者のうち、特定相手とウケ (挿入される側) の性行為を行ったも

のは 37 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 51% (n=19) であった (図 19)。

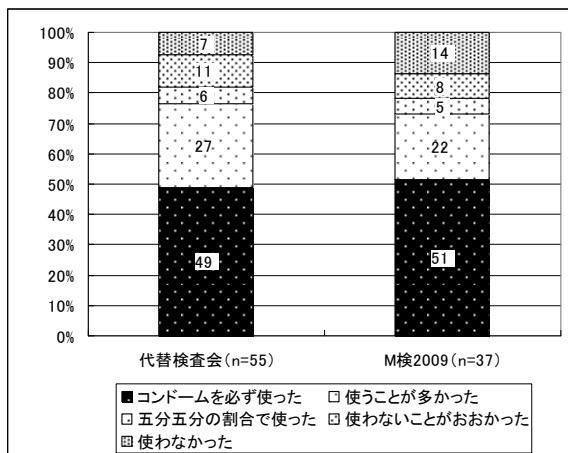


図 19 特定相手とウケ (挿入される側) のときのコンドーム常用率

過去 6 ヶ月間のその場限りの相手とタチ (挿入する側) のときのコンドーム使用状況について、代替検査会での受検者のうち、その場限りの相手とタチ (挿入する側) の性行為を行ったものは 54 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 63% (n=34) であった。

また M 検 2009 での受検者のうち、その場限りの相手とタチ (挿入する側) の性行為を行ったものは 45 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 60% (n=27) であった (図 20)。

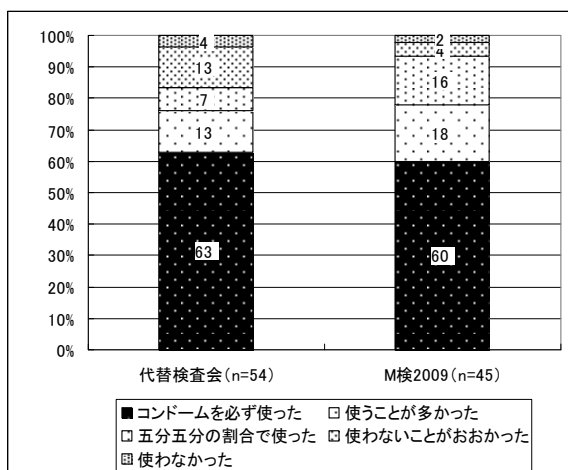


図 20 その場限りの相手とタチ (挿入する

側) のときのコンドーム常用率

過去 6 ヶ月間のその場限りの相手とウケ (挿入される側) のときのコンドーム使用状況について、代替検査会での受検者のうち、その場限りの相手とウケ (挿入される側) の性行為を行ったものは 54 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 52% (n=28) であった。また過去に性感染症に罹患したことがあるもの (n=29) のほうが、罹患したことはないもの (n=43) に比べて、その場限りの相手とウケのときのコンドーム常用率が有意に低かった (罹患あり 41%: 罹患なし 59%, p=0.009)。

M 検 2009 での受検者のうち、その場限りの相手とウケ (挿入される側) の性行為を行ったものは 35 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 54% (n=19) であった (図 21)。

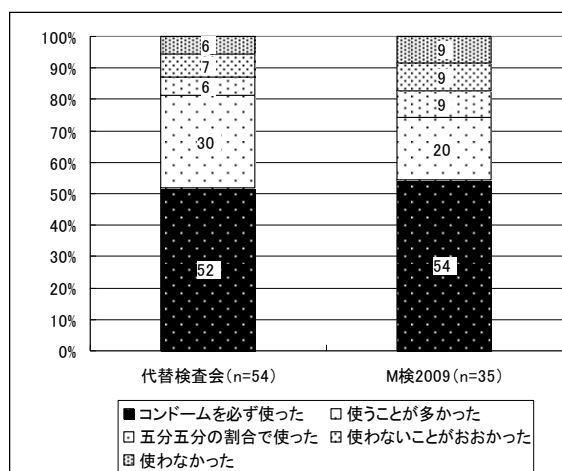


図 21 その場限りの相手とウケ (挿入される側) のときのコンドーム常用率

一番最近のアナルセックス (タチ・ウケどちらでも) 時のコンドーム常用率について (特定相手、その場限りの相手に関わらず)、代替検査会での受検者のうち、アナルセックスの際のコンドーム常用率は 67% (n=70) であり、また M 検 2009 での受検者のうち、アナルセックスの際のコンドーム常用率は 78% (n=55)

であった (図 22)。

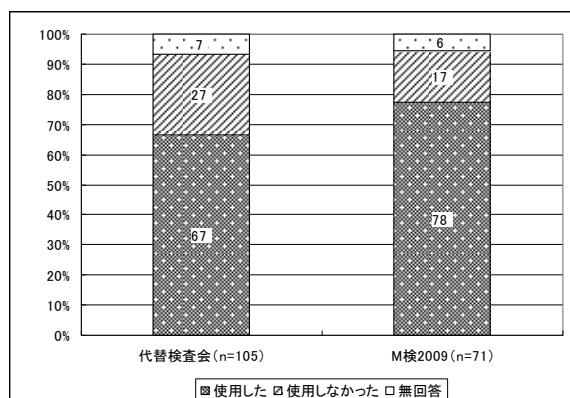


図 22 一番最近のアナルセックスのときのコンドーム使用

過去の性感染症の罹患について、代替検査会での受検者のうち、性感染症に罹患したことがあると答えたものの割合は 42% (n=44) で、M 検 2009 での受検者のうちでは 51% (n=36) であった (図 23)。

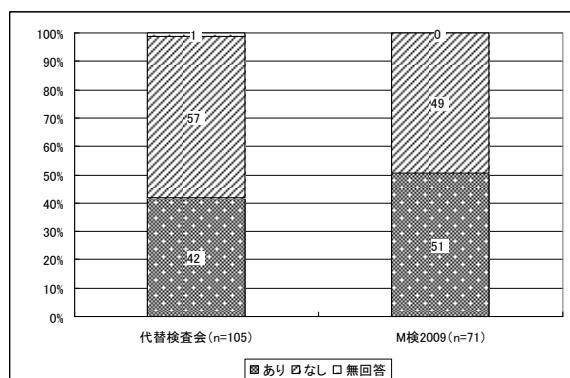


図 23 性感染症の罹患経験

代替検査会での受検者のうち、感染したことがある性感染症として、梅毒が 13% (n=14) と最も高く、B 型肝炎、ケジラミが 11% (n=12) クラミジアが 8% (n=8) であった。また、M 検 2009 での受検者では、梅毒が 21% (n=15) と最も高く、ケジラミが 20% (n=14)、B 型肝炎が 17% (n=12) であった (図 24)。

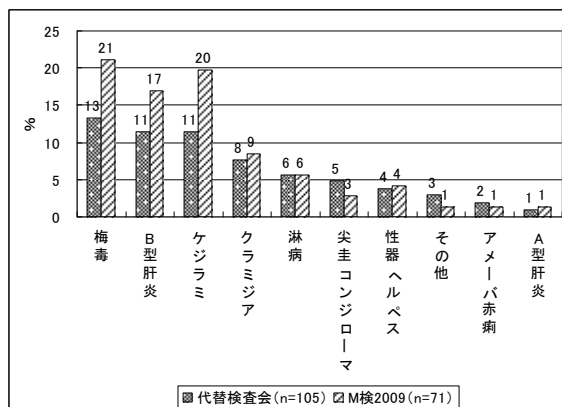


図 24 罹患した性感染症の種類

これから先の特定相手とのアナルセックス時のコンドームの使用について、毎回使いたいと答えたものの割合は、代替検査会での受検者では 63% (n=66) で、M 検 2009 での受検者では 68% (n=48) であった (図 25)。

また、これから先のその場限りの相手とのアナルセックス時のコンドームの使用について、毎回使いたいと答えたものの割合は、代替検査会での受検者では 82% (n=86) で、M 検 2009 での受検者では 86% (n=61) であった (図 26)。

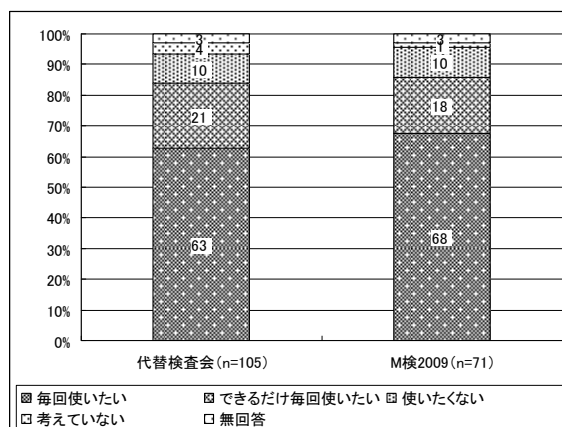


図 25 これから先のアナルセックス時のコンドーム使用について (特定相手)

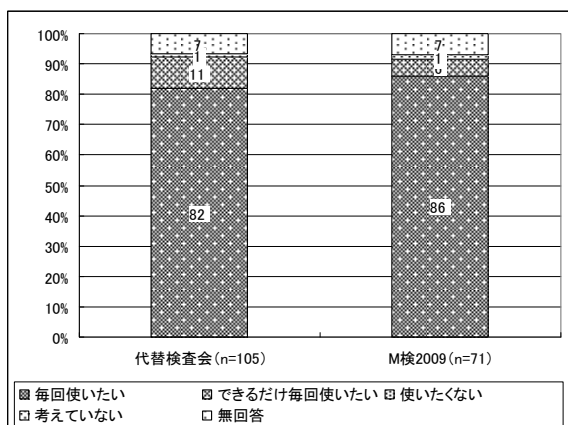


図 26 これから先のアナルセックス時のコンドーム使用について(その場限りの相手)

これまでの行動を振り返って、HIV に感染する可能性があったかに関して、十分可能性があったと答えたものの割合は、代替検査会での受検者では 38% (n=40) であり、M 検 2009 での受検者では 42% (n=30) であった。

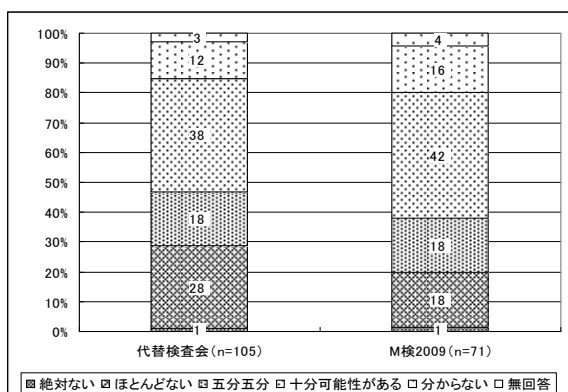


図 27 これまでの行動を振り返って HIV に感染する可能性があったか

⑦ゲイ・コミュニティによる啓発活動の認知

ANGEL LIFE NAGOYA の認知について、代替検査会での受検者のうち、コミュニティペーパー-h. a. n. a. について知らないと答えたものの割合が 60% (n=63) と最も高かった (図 28)。

一方、M 検 2009 での受検者のうち、コミュニティペーパー-h. a. n. a. について知らないと答えたものの割合が 61% (n=43) と最も高かった (図 28)。また M 検 2009 での受検者のうち、過去に性感染症に罹患したことがあるも

の (n=36) のほうが、罹患したことはないもの (n=35) に比べて、ALN の HP (罹患あり 75%: 罹患なし 43%、 $p=0.006$)、STI 勉強会 (罹患あり 64%: 罹患なし 29%、 $p=0.003$) について知っているか答えたものの割合が有意に高かった。

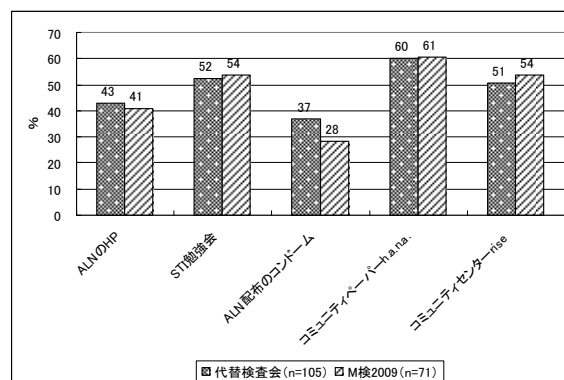


図 28 ALN の活動の認知(「知らない」と答えたものの割合)

HIV 陽性者の身近さ感について、身の回りに HIV に感染した友達がいると答えたものの割合は、代替検査会での受検者は 33% (n=35)、M 検 2009 での受検者は 38% (n=27) であった (図 29)。

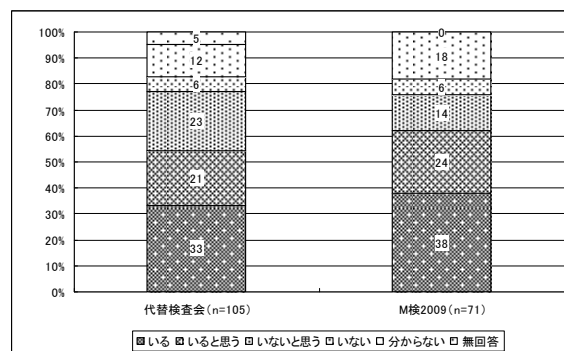


図 29 HIV 陽性者の身近さ感

⑧HIV 抗体陽性率

代替検査会での HIV 抗体検査受検者数は 107 人であり、そのうち HIV 抗体陽性者は 5 人であった (4.7%) (図 30)。うち 1 人は梅毒にも罹患していた。いずれの 5 人も、今回の検査ではじめて HIV 抗体陽性が判明したものだ。5 人のうち、名古屋市居住は 3 人、

名古屋市以外の愛知県居住者は2人であった。年齢は、20歳代が1人、30歳代が3人、40歳代が1人であった。性的指向は、男性同性愛者（ゲイ）が3人、両性愛者（バイセクシュアル）が2人だった。結婚歴は、あるものが1人、ないものが4人だった。これまでにHIV抗体検査を受検したことがあるものは3人、ないものは2人だった。

M検2009での受検者数は73人であり、そのうちHIV抗体陽性者は1人であった(1.4%) (図30)。この1人は、今回の検査ではじめてHIV抗体陽性が判明したものだ。居住地は名古屋市、年齢は20歳代、性的指向は両性愛者（バイセクシュアル）、結婚歴はなかった。過去1年間にHIV抗体検査を受検しており、名古屋市内の保健所で2回検査を受検していた。

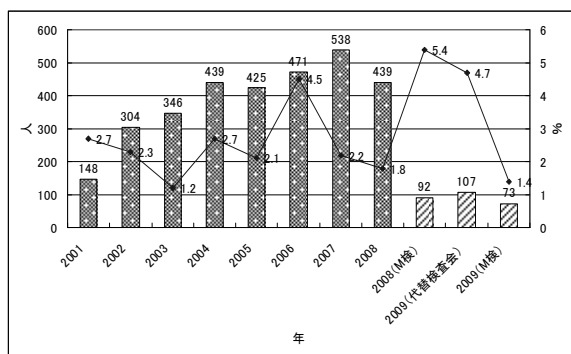


図30 HIV抗体陽性率

2) 保健所でのHIV検査会検査受検者とNLGR2009イベント会場来場者と特性の比較について

本研究では、保健所での無料HIV検査会での検査受検者（代替検査会とM検2009）とNLGR2009イベント会場来場者を比較することによって、保健所での検査会の受検者の特性を明らかにする。1)の結果から、2009(平成21)年12月に実施されたM検2009での検査受検者のうち、過去1年間にHIV抗体検査を受けたものの半数弱は、その3ヶ月前に実施された代替検査会も受検していたことが明らかとなった。

2)の分析においては、東海地域在住MSMのうち、NLGR2009イベント会場来場者(以下、NLGR2009会場とする、n=284)と、M検2009での受検者のうち代替検査会を受検したもの(n=24)を分析から除外し、そのM検2009受検者と代替検査会受検者を足した検査受検者(以下、保健所検査会とする、n=152)の二群をクロス集計した。

①基礎属性

年齢に関して、保健所検査会での受検者はNLGR2009会場参加者と比較して20代から30代の割合が低く、50代以上の受検者は2名だった(p<0.001)(図31)。平均年齢はNLGR2009会場参加者が31.7(SD±8.6)歳で、保健所検査会受検者が39.9(SD±19.4)歳であり、保健所検査会受検者の平均年齢が有意に高かった(p<0.001)。

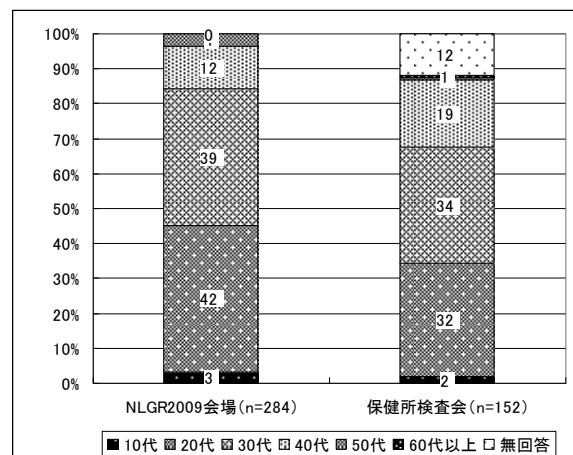


図31 年齢

居住地に関して、保健所検査会での受検者のうち、名古屋市居住者は53%(n=81)、名古屋市以外の愛知県居住者は36%(n=54)で、全体の89%(n=135)が愛知県在住者であり、NLGR2009会場参加者と比較して愛知県在住者が高かった(p=0.049)(図32)。

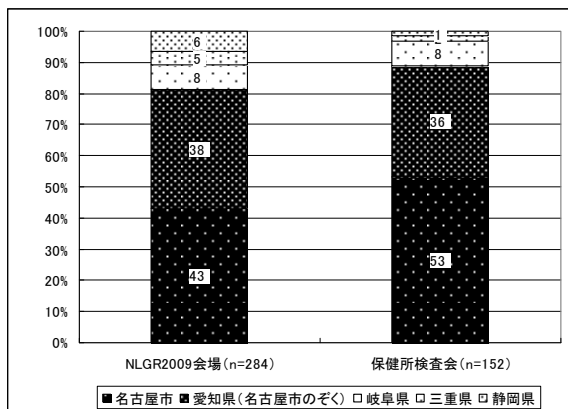


図 32 居住地

性的指向に関して、保健所検査会での受検者は両性愛者（バイセクシュアル）を自認するものが18%（n=27）と、NLGR2009会場参加者と比較して高かった。NLGR2009会場参加者は、保健所検査会での受検者と比較して、多様なセクシュアリティの人々が参加していた（p=0.040）（図 33）。

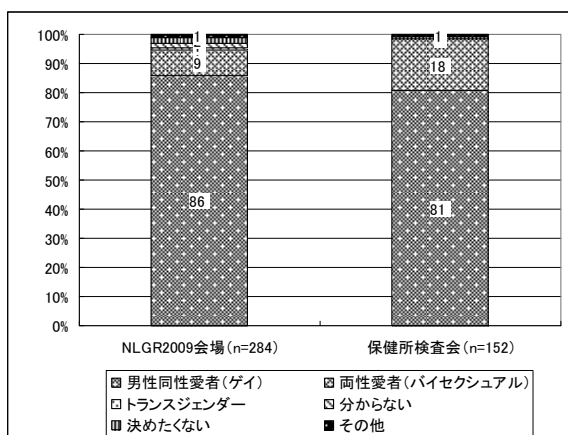


図 33 性的指向

②HIV 抗体検査受検行動

生涯での HIV 抗体検査受検経験に関して、保健所検査会での受検者でこれまでに HIV 抗体検査を受検したことがあるものの割合は 88%（n=133）で、NLGR2009 会場参加者と比較して有意に高かった（p=0.001）。

また過去 1 年間の HIV 抗体検査受検経験に関して、保健所検査会での受検者で過去 1 年間に HIV 抗体検査を受検したことがあるものの割合は 51%（n=77）で、NLGR2009 参加者と

比較して有意差は認められなかった（p=0.163）（図 34）。

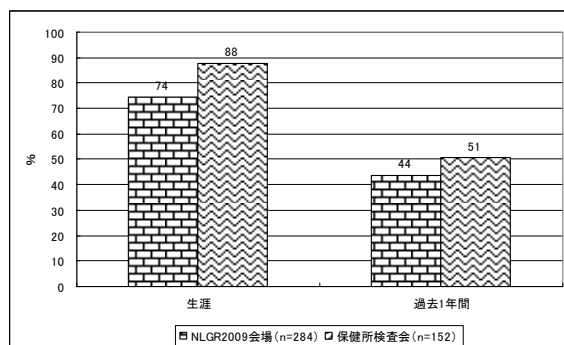


図 34 HIV 抗体検査受検経験

保健所検査会受検者 152 人の中で、HIV 陽性者は 6 人（3.9%）であった。

③過去 6 ヶ月間に利用した施設等

過去 6 ヶ月間に利用した施設等に関して、保健所検査会での受検者はゲイバー利用が 39%（n=59）で NLGR2009 会場参加者と比較して有意に低く（p=0.001）、PC 関連の利用に関しては mixi が 38%（n=58、p<0.001）、ゲイ向け SNS が 45%（n=69、p=0.019）、PC の出会い系サイトや掲示板が 28%（n=43、p=0.001）と NLGR2009 会場参加者と比較して有意に低かった（図 35）。

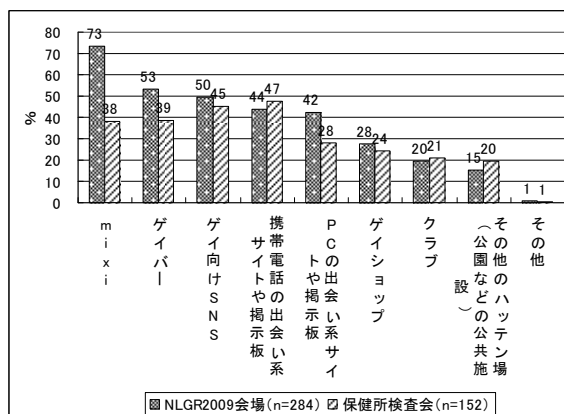


図 35 過去 6 ヶ月間に利用した施設等（複数回答）

④HIV/STI 感染予防行動とリスク認知

過去 6 ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム使用率に関して、保健所検査会での受検

者と NLGR2009 参加者の両群間で、特定相手とのタチ時 (p=0.288) (図 36)、特定相手とのウケ時 (p=0.242) (図 37)、その場限りの相手とのタチ時 (p=0.562) (図 38)、その場限りの相手とのウケ時 (p=0.170) (図 39) において、それぞれ有意差は認められなかった。

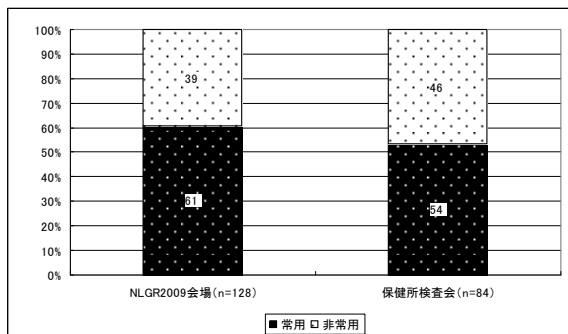


図 36 特定相手とタチ (挿入する側) のときのコンドーム常用率

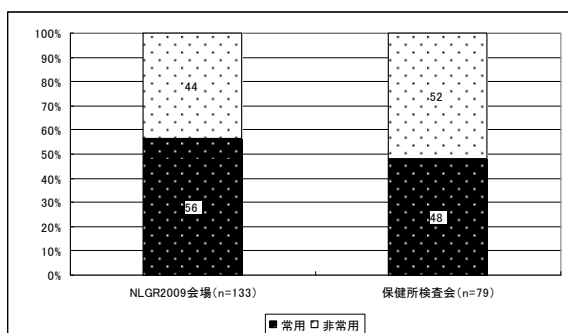


図 37 特定相手とウケ (挿入される側) のときのコンドーム常用率

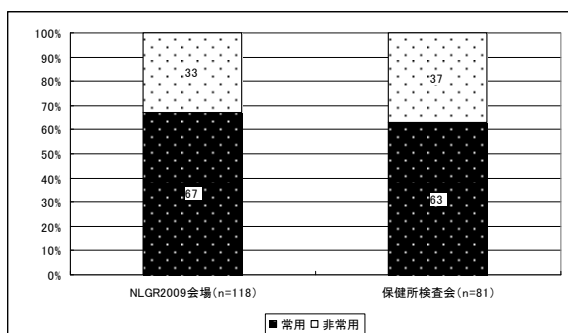


図 38 その場限りの相手とタチ (挿入する側) のときのコンドーム常用率

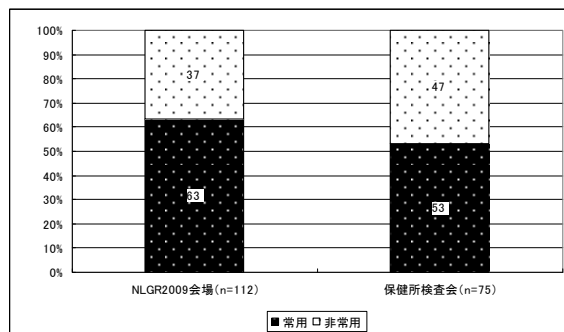


図 39 その場限りの相手とウケ (挿入される側) のときのコンドーム常用率

これまでの行動を振り返って HIV に感染する可能性があったかに関して、保健所検査会での受検者では、十分可能性があったと答えたものの割合は 39% (n=59) であり、NLGR2009 検査会参加者と比較して有意に高かった (p<0.001) (図 40)。

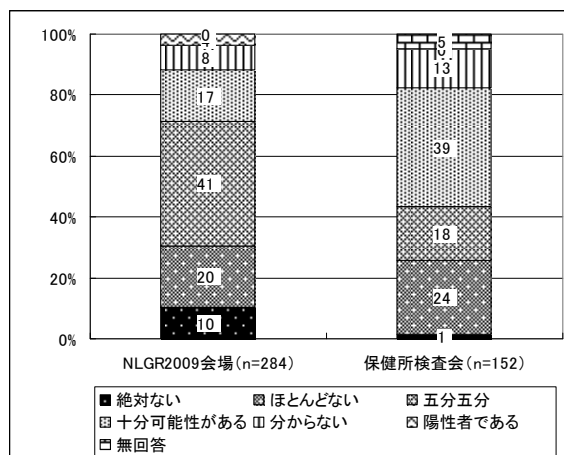


図 40 これまでの行動を振り返って HIV に感染する可能性があったか

⑤ゲイ・コミュニティによる啓発活動の認知

ANGEL LIFE NAGOYA (ALN) の認知について、保健所検査会での受検者のうち、ALM のウェブサイト知らないものの割合は 45% (n=69, p=0.007)、STI 勉強会は 55% (n=84, p=0.002)、コミュニティペーパー-h. a. n. a. は 63% (n=95, p<0.001) で、NLGR2009 会場参加者と比較して有意に低く、一方 ALN 配布のコンドームは 38% (n=58, p=0.001)、コミュニティセンター rise が% (n=82, p=0.008) と有意に高か

った (図 41)。

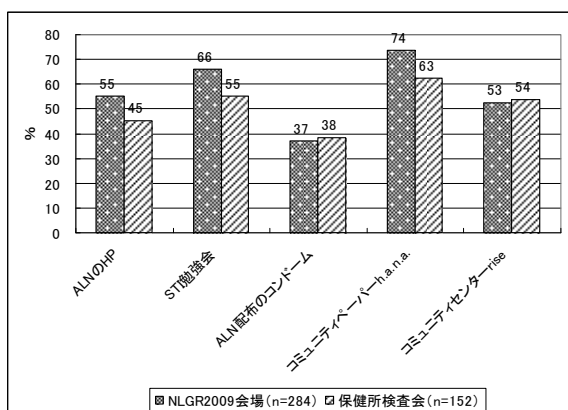


図 41 ALN の活動の認知 (「知らない」と答えたものの割合)

HIV 陽性者の身近さ感について、保健所検査会での受検者では、身の回りに HIV に感染した友達がいると答えたものの割合は 34% (n=52)、いないと答えたものは 6% (n=9) で、NLGR2009 イベント会場参加者と比較して有意に低かった ($p < 0.000$) (図 42)。

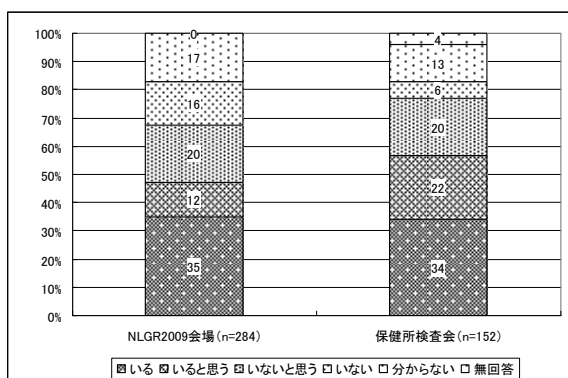


図 42 HIV 陽性者の身近さ感

D. 考察

名古屋市においては、2001 (平成 13) 年以来 MSM を対象とした HIV 抗体検査会が毎年実施されてきた。これらの検査会は、NLGR (Nagoya Lesbian and Gay Revolution) というイベントと併設されて行われてきたが、昨年 2008 (平成 20) 年 12 月には、名古屋市の保健所を利用した検査会 (M 検) が初めて実施された。保健所を利用した MSM に特化した検査会が実施されたねらいは、MSM が保健所

で継続的に利用できるような利便性の高い検査機会を提供することにあった。したがって M 検は、NLGR というイベントに併設された検査会とは異なった新たな検査体制であった。昨年度の結果によると、2008 年実施の M 検利用者のうち、NLGR の検査会に参加したことがないものは半数おり、その M 検受検者のうち NLGR に参加したことがなかったものは、保健所での検査も行きにくく、NLGR にも行きにくい層だったということが明らかとなった。したがって、MSM に特化した保健所を利用した HIV 抗体検査会は、一般の保健所での HIV 抗体検査に行きにくい層にとって利便性の高い検査であることが分かった。

一方、今年度は 6 月に NLGR2009 というイベントは実施されたが、新型インフルエンザの流行に伴い、イベント会場併設の HIV 抗体検査会は実施されなかった。その結果、9 月に NLGR2009 代替検査会が保健所で実施され、12 月には M 検も同じ保健所で実施された。したがって結果的に、MSM を対象とした保健所での検査会が今年度は 2 回行われたこととなる。

まず、HIV 抗体陽性率の推移から見ると、2008 年の M 検では 5.4% と、これまでの NLGR での陽性率と比較して高かった。したがって M 検は、より検査が必要な MSM に対して検査の機会を提供することができるのではないかと考えられた。一方、今年度実施された代替検査会では 4.7% と高かったが、M 検 2009 では 1.4% であった (保健所検査会受検者に占める HIV 陽性者の割合は、3.9% であった)。これは、代替検査会と M 検 2009 の間の期間が 3 ヶ月であり、検査受検者がどちらかの検査会へと分散されたことが影響しているとも考えられる。いずれにせよ、来年度の経過も見ながら、MSM を対象とした保健所での検査会がどのような特性の MSM が参加しているのかを継続的に分析していく必要がある。

M 検 2009 の検査受検者で過去 1 年間に HIV 抗体検査を受けたもの (n=52) のうち、55%

(n=26) は代替検査会で検査を受検していることが分かった。今回、代替検査会とM検2009に参加した理由を見ても、定期的に検査を受けているからと答えているものの割合が高い。MSMを対象とした保健所での検査会では、今後さらに検査未受検者の利便性を考慮した検査会が提供できるよう工夫をしていく必要がある。

代替検査会やM検2009が生涯初の検査機会となったものの回答を分析すると、ゲイが利用しやすい検査環境が提供されることを希望していることが明らかとなった。彼らの多くは、ゲイ向け出会い系サイトやSNSなどのインターネットから検査の情報を得ており、保健所検査会の広報は、これらインターネットを通して行われることが有効であることが分かった。過去6ヶ月間に利用した施設等を見ても、ゲイバーの利用が顕著に減少している。検査や予防に関する情報提供も、今後さらにインターネットを用いた方法を模索する必要があるだろう。

名古屋市では2010(平成22)年1月より毎月第1・第3土曜日に中保健所にて土曜日即日検査を実施することとなり、MSMが利用しやすい検査環境がさらに整備されつつある。検査日や時間が限られていることが保健所での検査を利用しにくくしている障壁となっていることを考慮すると、この点の改善は今後さらに検討が必要であると思われる。また、名古屋市でのMSMを対象としたNLGRでの無料HIV抗体検査会は、イベント会場に併設するのではなく、保健所で実施されるような試みがなされている。この実施に関しては取り組むべき課題も多いが、今後さらに整備されていくことが期待されている。

E. 発表論文等

(研究論文)

- 1) 新ヶ江章友、金子典代、内海眞、市川誠一：
名古屋市で開催された HIV 抗体検査会に

参加した東海地域在住 MSM (Men who have Sex with Men) の性自認と HIV 感染リスク行動, 日本エイズ学会誌 11(3): 255-262, 2009.

(国際学会発表)

- 1) Shingae A, Utsumi M, Ichikawa S, et. al.: Differences between Two Samples of MSM Attending HIV Testing Events in Nagoya, Japan, 9th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, August 2009, Bali, Indonesia.

(国内学会発表)

- 1) 新ヶ江章友、金子典代(組織・座長): MSM 社会とのインターフェイス—臨床・検査・社会の協働(若手企画/臨床・社会コラボシンポジウム), 第23回日本エイズ学会学術集会・総会, 2009年11月, 名古屋.

付表1 NLGR2009代替検査会、M検2009 東海地域に居住するMSMの集計結果				
	代替検査会 n=105 (%)	M検2009 n=71 (%)	合計 n=176 (%)	χ^2 検定 P値
年齢				
10代	2 (1.9)	1 (1.4)	3 (1.7)	0.583
20代	34 (32.4)	19 (26.8)	53 (30.1)	
30代	38 (36.2)	25 (35.2)	63 (35.8)	
40代	17 (16.2)	18 (25.4)	35 (19.9)	
50代	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (0.6)	
60代以上	1 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	
無回答	13 (12.4)	7 (9.9)	20 (11.4)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
居住地				
名古屋市	47 (44.8)	46 (64.8)	93 (52.8)	0.062
愛知県(名古屋市のぞく)	45 (42.9)	18 (25.4)	63 (35.8)	
岐阜県	8 (7.6)	6 (8.5)	14 (8.0)	
三重県	3 (2.9)	0 (0.0)	3 (1.7)	
静岡県	2 (1.9)	1 (1.4)	3 (1.7)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
性的指向				
男性同性愛者(ゲイ)	89 (84.8)	55 (77.5)	144 (81.8)	0.274
両性愛者(バイセクシュアル)	16 (15.2)	15 (21.1)	31 (17.6)	
決めたくない	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (0.6)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
結婚歴				
あり	8 (7.6)	2 (2.8)	10 (5.7)	0.177
なし	97 (92.4)	69 (97.2)	166 (94.3)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
生涯でのHIV抗体検査受検経験				
あり	91 (86.7)	66 (93.0)	157 (89.2)	0.187
なし	14 (13.3)	5 (7.0)	19 (10.8)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
生涯でのHIV抗体検査の受検場所(複数回答)				
病院や医院(クリニック)	14 (15.4)	7 (10.9)	21 (13.5)	0.426
名古屋市内保健所の夜間(18時以降)の検査	15 (16.5)	16 (25.0)	31 (20.0)	
名古屋市内保健所の昼間の検査	25 (27.5)	25 (39.1)	50 (32.3)	0.129
愛知県内の名古屋市以外保健所の夜間(18時以降)の検査	8 (8.8)	4 (6.3)	12 (7.7)	
愛知県内の名古屋市以外保健所の昼間の検査	15 (16.5)	13 (20.3)	28 (18.1)	0.542
名古屋市ナディアパーク日曜検査	16 (17.6)	15 (23.4)	31 (20.0)	
NLGRのHIV検査会	55 (60.4)	46 (71.9)	101 (65.2)	0.141
2008年12月のM検	19 (20.9)	20 (31.3)	39 (25.2)	
自宅検査・郵送検査	5 (5.5)	1 (1.6)	6 (3.9)	0.211
その他	12 (13.2)	3 (4.7)	15 (9.7)	
合計	121 (115.2)	101 (142.3)	222 (126.1)	0.078
過去1年間でのHIV抗体検査受検経験				
あり	69 (65.7)	52 (73.2)	121 (68.8)	0.445
なし	35 (33.3)	19 (26.8)	54 (30.7)	
無回答	1 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	

	代替検査会 n=105 (%)	M検2009 n=71 (%)	合計 n=176 (%)	χ^2 検定 P値
過去1年間でのHIV抗体検査の受検場所(複数回答)				
病院や医院(クリニック)	2 (3.6)	0 (0.0)	2 (2.0)	0.187
名古屋市内保健所の夜間(18時以降)の検査	12 (21.8)	9 (19.1)	21 (20.6)	0.740
名古屋市内保健所の昼間の検査	10 (18.2)	9 (19.1)	19 (18.6)	0.900
愛知県内の名古屋市以外保健所の夜間(18時以降)の検査	5 (9.1)	3 (6.4)	8 (7.8)	0.612
愛知県内の名古屋市以外保健所の昼間の検査	5 (9.1)	6 (12.8)	11 (10.8)	0.551
名古屋市ナディアパーク日曜検査	8 (14.5)	6 (12.8)	14 (13.7)	0.795
NLGR2009代替検査会	()	24 (46.1)	()	
2008年12月のM検	21 (38.2)	16 (34.0)	37 (36.3)	0.665
自宅検査・郵送検査	3 (5.5)	1 (2.1)	4 (3.9)	0.388
その他	3 (5.5)	1 (2.1)	4 (3.9)	0.388
保健所のHIV(エイズ)検査は利用しやすいですか				
利用しやすい	36 (34.4)	31 (43.7)	67 (38.1)	0.142
利用しにくい	30 (28.6)	25 (35.2)	55 (31.1)	
どちらでもない・分からない	38 (36.2)	15 (21.1)	53 (30.1)	
無回答	1 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
利用しにくい、どちらでもない・分からないを選んだ理由(複数回答)				
受けたことがないので分からない	21 (30.4)	7 (17.9)	28 (25.9)	0.179
検査日が限られている	43 (62.3)	31 (77.5)	74 (67.9)	0.194
検査時間が限られている	36 (52.2)	31 (77.5)	67 (61.5)	<u>0.026</u>
どんな対応をされるか不安	11 (15.9)	5 (12.5)	16 (14.7)	0.476
場所が不便である	10 (14.5)	8 (20.0)	18 (16.5)	0.439
結果通知までが長い	8 (11.6)	16 (40.0)	24 (22.0)	<u>0.002</u>
ゲイフレンドリーではないから	5 (7.2)	3 (7.5)	8 (7.3)	0.554
陽性だったときにどのようなサポートがあるかわからないから	3 (4.3)	1 (2.5)	4 (3.7)	0.483
その他	8 (11.6)	1 (2.5)	9 (8.3)	0.129
HIV(エイズ)検査場所を選ぶ上で、重要だと思うこと(複数回答)				
同性愛者(ゲイやレズビアン)が多く受検している	36 (34.6)	23 (32.9)	59 (33.9)	0.810
友人やバー等で評判をクチコミで聞いている	14 (13.5)	6 (8.6)	20 (11.5)	0.321
ゲイやレズビアン向け雑誌やネットで宣伝されている	25 (24.0)	16 (22.9)	41 (23.6)	0.857
新聞やポスター、広報にて宣伝されている	12 (11.5)	5 (7.1)	17 (9.8)	0.338
インターネットで事前に調べることができる	42 (40.4)	26 (37.1)	68 (39.1)	0.667
知り合いが検査場所で働いていない	18 (17.3)	19 (27.1)	37 (21.3)	0.120
行きやすい時間帯に検査が行なわれている	72 (69.2)	55 (78.6)	127 (73.0)	0.174
検査の場所が利用しやすいところにある	56 (53.8)	49 (70.0)	105 (60.3)	<u>0.033</u>
イベントと同時開設されている	31 (29.8)	15 (21.4)	46 (26.4)	0.219
性感染症(性病)罹患経験				
あり	44 (41.9)	36 (50.7)	80 (45.5)	0.390
なし	60 (57.1)	35 (49.3)	95 (54.0)	
無回答	1 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	

	代替検査会 n=105 (%)	M検2009 n=71 (%)	合計 n=176 (%)	χ ² 検定 P値
罹患した性感染症の種類(複数回答、全回答者のうちの割合)				
梅毒	14 (13.3)	15 (21.1)	29 (16.5)	0.434
A型肝炎	1 (1.0)	1 (1.4)	2 (1.1)	0.593
淋病	6 (5.7)	4 (5.6)	10 (5.7)	0.572
アメーバ赤痢	2 (1.9)	1 (1.4)	3 (1.7)	0.561
B型肝炎	12 (11.4)	12 (16.9)	24 (13.6)	0.525
クラミジア	8 (7.6)	6 (8.5)	14 (8.0)	0.591
HIV感染症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.390
ケジラミ	12 (11.4)	14 (19.7)	26 (14.8)	0.372
性器ヘルペス	4 (3.8)	3 (4.2)	7 (4.0)	0.594
尖圭コンジローマ	5 (4.8)	2 (2.8)	7 (4.0)	0.433
その他	3 (2.9)	1 (1.4)	4 (2.3)	0.461
今回のHIV抗体検査会をどこで知りましたか(複数回答)				
ゲイバーの人から聞いた	16 (15.2)	7 (9.9)	23 (13.1)	0.299
友人から聞いた	30 (28.6)	13 (18.3)	43 (24.4)	0.120
恋人から聞いた	3 (2.9)	2 (2.8)	5 (2.8)	0.987
ゲイ雑誌で見た	11 (10.5)	4 (5.6)	15 (8.5)	0.259
ゲイイベントのちらし・ポスターで見	13 (12.4)	10 (14.1)	23 (13.1)	0.742
ゲイショップのちらし・ポスターで見た	4 (3.8)	2 (2.8)	6 (3.4)	0.722
ゲイバーのちらし・ポスターで見た	14 (13.3)	7 (9.9)	21 (11.9)	0.485
ハッテン場のちらし・ポスターで見た	4 (3.8)	2 (2.8)	6 (3.4)	0.722
PCのサイトで見た	18 (17.1)	14 (19.7)	32 (18.2)	0.664
携帯電話のサイトで見た	23 (21.9)	25 (35.2)	48 (27.3)	0.052
mixiで見た	31 (29.5)	13 (18.3)	44 (25.0)	0.092
ゲイ向けSNS(HuGs、Men's mixi、男 子寮)で見た	23 (21.9)	8 (11.3)	31 (17.6)	0.069
ゲイ向けサイトのバナー広告で見た	17 (16.2)	1 (1.4)	18 (10.2)	0.001
ゲイサイトのイベントカレンダーで見 riseで知った	1 (1.0)	2 (2.8)	3 (1.7)	0.349
h.a.n.a.で見た	13 (12.4)	6 (8.5)	19 (10.8)	0.410
その他	2 (1.9)	2 (2.8)	4 (2.3)	0.690
	0 (0.0)	3 (4.2)	3 (1.7)	0.034
今回、HIV(エイズ)検査を受ける理由(複数回答)				
自分が感染している可能性があるか	45 (42.9)	30 (42.3)	75 (42.6)	0.937
他の人に感染させたくないから	53 (50.5)	33 (46.5)	86 (48.9)	0.603
定期的に検査を受けているから	48 (45.7)	43 (60.6)	91 (51.7)	0.053
情報に触れて自分のことが心配に なった	14 (13.3)	6 (8.5)	20 (11.4)	0.317
友人と一緒に受けることにしたから	12 (11.4)	3 (4.2)	15 (8.5)	0.093
恋人と一緒に受けることにしたから	5 (4.8)	1 (1.4)	6 (3.4)	0.229
HIV感染者の増加を最近知ったから	14 (13.3)	7 (9.9)	21 (11.9)	0.485
コンドームなしのオーラルセックスを したから	37 (35.2)	27 (38.0)	64 (36.4)	0.706
コンドームなしのアナルセックスをし たから	28 (26.7)	16 (22.5)	44 (25.0)	0.535
体調変化があり、感染の不安を感じ たから	12 (11.4)	6 (8.5)	18 (10.2)	0.522
性感染症(STI)にかかったから	2 (1.9)	2 (2.8)	4 (2.3)	0.690
新しい恋人ができた	8 (7.6)	2 (2.8)	10 (5.7)	0.177
身近な人が感染した	5 (4.8)	2 (2.8)	7 (4.0)	0.517
ただ単に知りたかった	35 (33.3)	23 (32.4)	58 (33.0)	0.897
その他	3 (2.9)	1 (1.4)	4 (2.3)	0.527
過去6ヶ月間の女性とのセックスの経験				
あり	4 (3.8)	2 (2.8)	6 (3.4)	0.665
なし	100 (95.2)	69 (97.2)	169 (96.0)	
無回答	1 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
過去6ヶ月間の男性とのセックス(フェラチオ、アナルセックス、相互マスターベーション)の経験				
ある	101 (96.2)	67 (94.4)	168 (95.5)	0.850
ない	3 (2.9)	3 (4.2)	6 (3.4)	
無回答	1 (1.0)	1 (1.4)	2 (1.1)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	

	代替検査会 n=105 (%)	M検2009 n=71 (%)	合計 n=176 (%)	χ ² 検定 P値
過去6ヶ月間のセックス時の併用品(複数回答)				
コンドーム	82 (81.2)	58 (85.3)	140 (82.8)	0.488
水溶性ローション(潤滑剤・ゼリー)	87 (86.1)	61 (89.7)	148 (87.6)	0.491
ラッシュ	13 (12.9)	3 (4.4)	16 (9.5)	0.065
5MEO-DIPT(ゴメオ・フォクシー)	2 (2.0)	0 (0.0)	2 (1.2)	0.243
その他の合法(脱法)ドラッグ	1 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	0.411
ぼっ起薬	12 (11.9)	6 (8.8)	18 (10.7)	0.527
併用品なし	9 (8.9)	4 (5.9)	13 (7.7)	0.469
過去6ヶ月間の特定の相手とアナルセックス(タチ)のときのコンドーム使用状況				
コンドームを必ず使った	30 (52.6)	24 (55.8)	54 (54.0)	0.723
使うことが多かった	12 (21.1)	10 (23.3)	22 (22.0)	
五分五分の割合で使った	4 (7.0)	1 (2.3)	5 (5.0)	
使わないことが多かった	9 (15.8)	5 (11.6)	14 (14.0)	
使わなかった	2 (3.5)	3 (7.0)	5 (5.0)	
合計	57 (100.0)	43 (100.0)	100 (100.0)	
過去6ヶ月間の特定の相手とアナルセックス(ウケ)のときのコンドーム使用状況				
コンドームを必ず使った	27 (49.1)	19 (51.4)	46 (50.0)	0.851
使うことが多かった	15 (27.3)	8 (21.6)	23 (25.0)	
五分五分の割合で使った	3 (5.5)	2 (5.4)	5 (5.4)	
使わないことが多かった	6 (10.9)	3 (8.1)	9 (9.8)	
使わなかった	4 (7.3)	5 (13.5)	9 (9.8)	
合計	55 (100.0)	37 (100.0)	92 (100.0)	
過去6ヶ月間のその場限りの相手とアナルセックス(タチ)のときのコンドーム使用状況				
コンドームを必ず使った	34 (63.0)	27 (60.0)	61 (61.6)	0.404
使うことが多かった	7 (13.0)	8 (17.8)	15 (15.2)	
五分五分の割合で使った	4 (7.4)	7 (15.6)	11 (11.1)	
使わないことが多かった	7 (13.0)	2 (4.4)	9 (9.1)	
使わなかった	2 (3.7)	1 (2.2)	3 (3.0)	
合計	54 (100.0)	45 (100.0)	99 (100.0)	
過去6ヶ月間のその場限りの相手とアナルセックス(ウケ)のときのコンドーム使用状況				
コンドームを必ず使った	28 (51.9)	19 (54.3)	47 (52.8)	0.845
使うことが多かった	16 (29.6)	7 (20.0)	23 (25.8)	
五分五分の割合で使った	3 (5.6)	3 (8.6)	6 (6.7)	
使わないことが多かった	4 (7.4)	3 (8.6)	7 (7.9)	
使わなかった	3 (5.6)	3 (8.6)	6 (6.7)	
合計	54 (100.0)	35 (100.0)	89 (100.0)	
一番最近したアナルセックス(タチ・ウケどちらでも)時のコンドーム使用状況				
使用した	70 (66.7)	55 (77.5)	125 (71.0)	0.28
使用しなかった	28 (26.7)	12 (16.9)	40 (22.7)	
無回答	7 (6.7)	4 (5.6)	11 (6.3)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
一番最近したアナルセックス(タチ・ウケどちらでも)の相手				
その場限りの人	54 (51.4)	43 (60.6)	97 (55.1)	0.456
特定の人	42 (40.0)	24 (33.8)	66 (37.5)	
無回答	9 (8.6)	4 (5.6)	13 (7.4)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
これから先のアナルセックス時のコンドーム使用について(特定相手の場合)				
毎回使いたい	66 (62.9)	48 (67.6)	114 (64.8)	0.884
できるだけ毎回使いたい	22 (21.0)	13 (18.3)	35 (19.9)	
使いたくない	10 (9.5)	7 (9.9)	17 (9.7)	
考えていない	4 (3.8)	1 (1.4)	5 (2.8)	
無回答	3 (2.9)	2 (2.8)	5 (2.8)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
これから先のアナルセックス時のコンドーム使用について(その場限りの相手の場合)				
毎回使いたい	86 (81.9)	61 (85.9)	147 (83.5)	0.721
できるだけ毎回使いたい	11 (10.5)	4 (5.6)	15 (8.5)	
使いたくない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
考えていない	1 (1.0)	1 (1.4)	2 (1.1)	
無回答	7 (6.7)	5 (7.0)	12 (6.8)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	

	代替検査会 n=105 (%)	M検2009 n=71 (%)	合計 n=176 (%)	χ^2 検定 P値
過去6ヶ月間に利用したもの(複数回答)				
サウナ系ハッテン場	50 (47.6)	28 (39.4)	78 (44.3)	0.524
マンション系ハッテン場	35 (33.3)	26 (36.6)	61 (34.7)	0.885
ビデオBOX系ハッテン場	7 (6.7)	3 (4.2)	10 (5.7)	0.761
その他のハッテン場(公園などの公 共施設)	25 (23.8)	8 (11.3)	33 (18.8)	0.104
PCの出会い系サイトや掲示板	28 (26.7)	23 (32.4)	51 (29.0)	0.702
携帯電話の出会い系サイトや掲示 mixi	53 (50.5)	30 (42.3)	83 (47.2)	0.523
37 (35.2)	33 (46.5)	70 (39.8)	0.326	
ゲイ向けSNS(HuGs、Men's mixi、男 子寮など)	50 (47.6)	30 (42.3)	80 (45.5)	0.739
ゲイバー	38 (36.2)	32 (45.1)	70 (39.8)	0.494
クラブ	21 (20.0)	19 (26.8)	40 (22.7)	0.568
ゲイショップ	23 (21.9)	23 (32.4)	46 (26.1)	0.297
その他	1 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	0.688
利用したものはない	6 (5.7)	0 (0.0)	6 (3.4)	0.117
過去6ヶ月間の屋内系ハッテン場(サウナ系、マンション系、ビデオBOX系)の利用				
あり	72 (68.6)	41 (57.7)	113 (64.2)	0.104
なし	32 (30.5)	26 (36.6)	58 (33.0)	
無回答	1 (1.0)	4 (5.6)	5 (2.8)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
過去6ヶ月間に屋内系ハッテン場を利用した回数				
1~2回	25 (34.2)	14 (31.1)	39 (33.1)	0.109
3~5回	20 (27.4)	13 (28.9)	33 (28.0)	
6~10回	16 (21.9)	6 (13.3)	22 (18.6)	
11回以上	6 (8.2)	2 (4.4)	8 (6.8)	
無回答	6 (8.2)	10 (22.2)	16 (13.6)	
合計	73 (100.0)	45 (100.0)	118 (100.0)	
これまでの行動を振り返って、あなたはHIV(エイズ)に感染する可能性がどのくらいあったと思いますか。				
絶対ない	1 (1.0)	1 (1.4)	2 (1.1)	0.733
ほとんどない	29 (27.6)	13 (18.3)	42 (23.9)	
五分五分	19 (18.1)	13 (18.3)	32 (18.2)	
十分可能性がある	40 (38.1)	30 (42.3)	70 (39.8)	
分からない	13 (12.4)	11 (15.5)	24 (13.6)	
無回答	3 (2.9)	3 (4.2)	6 (3.4)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
以前と比べてコンドームを使うゲイの友達が多くなった。				
強く思う	22 (21.0)	21 (29.6)	43 (24.4)	0.517
やや思う	56 (53.3)	32 (45.1)	88 (50.0)	
思わない	23 (21.9)	14 (19.7)	37 (21.0)	
無回答	4 (3.8)	4 (5.6)	8 (4.5)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
コンドームを使うかどうか相手によって決めることが多い。				
強く思う	30 (28.6)	18 (25.4)	48 (27.3)	0.579
やや思う	27 (25.7)	23 (32.4)	50 (28.4)	
思わない	46 (43.8)	27 (38.0)	73 (41.5)	
無回答	2 (1.9)	3 (4.2)	5 (2.8)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
ドラッグを使っているときはコンドームを使わなくなることが多い。				
強く思う	16 (15.2)	10 (14.1)	26 (14.8)	0.235
やや思う	16 (15.2)	15 (21.1)	31 (17.6)	
思わない	67 (63.8)	37 (52.1)	104 (59.1)	
無回答	6 (5.7)	9 (12.7)	15 (8.5)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	

	代替検査会 n=105 (%)	M検2009 n=71 (%)	合計 n=176 (%)	χ ² 検定 P値
アルコールを飲んで酔っていると、コンドームを使わなくなることが多い。				
強く思う	16 (15.2)	7 (9.9)	23 (13.1)	0.371
やや思う	20 (19.0)	20 (28.2)	40 (22.7)	
思わない	64 (61.0)	39 (54.9)	103 (58.5)	
無回答	5 (4.8)	5 (7.0)	10 (5.7)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
エイズになっても薬があるので、コンドームなしのセックスをするゲイが多くなった。				
強く思う	6 (5.7)	6 (8.5)	12 (6.8)	0.632
やや思う	22 (21.0)	19 (26.8)	41 (23.3)	
思わない	72 (68.6)	42 (59.2)	114 (64.8)	
無回答	5 (4.8)	4 (5.6)	9 (5.1)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
自分の感染を知らずにコンドームなしのセックスをするゲイは少なくなった。				
強く思う	11 (10.5)	7 (9.9)	18 (10.2)	0.706
やや思う	35 (33.3)	29 (40.8)	64 (36.4)	
思わない	53 (50.5)	30 (42.3)	83 (47.2)	
無回答	6 (5.7)	5 (7.0)	11 (6.3)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
身の回りにHIVに感染した友達、知り合いはいるか				
いる	35 (33.3)	27 (38.0)	62 (35.2)	0.259
いると思う	22 (21.0)	17 (23.9)	39 (22.2)	
いないと思う	24 (22.9)	10 (14.1)	34 (19.3)	
いない	6 (5.7)	4 (5.6)	10 (5.7)	
分からない	13 (12.4)	13 (18.3)	26 (14.8)	
無回答	5 (4.8)	0 (0.0)	5 (2.8)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
ANGLE LIFE NAGOYA のウェブサイト				
見たことがある	31 (29.5)	25 (35.2)	56 (31.8)	0.275
知っている	24 (22.9)	17 (23.9)	41 (23.3)	
知らない	45 (42.9)	29 (40.8)	74 (42.0)	
無回答	5 (4.8)	0 (0.0)	5 (2.8)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
性感染症(STI)勉強会				
参加したことがある	10 (9.5)	7 (9.9)	17 (9.7)	0.231
知っている	34 (32.4)	26 (36.6)	60 (34.1)	
知らない	55 (52.4)	38 (53.5)	93 (52.8)	
無回答	6 (5.7)	0 (0.0)	6 (3.4)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
ANGEL LIFE NAGOYAの配布するコンドーム				
受け取った	36 (34.3)	25 (35.2)	61 (34.7)	0.017
知っている	22 (21.0)	26 (36.6)	48 (27.3)	
知らない	39 (37.1)	20 (28.2)	59 (33.5)	
無回答	8 (7.6)	0 (0.0)	8 (4.5)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
コミュニティーペーパー-h.a.n.a				
見たことがある	21 (20.0)	13 (18.3)	34 (19.3)	0.152
知っている	15 (14.3)	15 (21.1)	30 (17.0)	
知らない	63 (60.0)	43 (60.6)	106 (60.2)	
無回答	6 (5.7)	0 (0.0)	6 (3.4)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	
コミュニティーセンター-rise				
行ったことがある	25 (23.8)	15 (21.1)	40 (22.7)	0.186
知っている	21 (20.0)	18 (25.4)	39 (22.2)	
知らない	53 (50.5)	38 (53.5)	91 (51.7)	
無回答	6 (5.7)	0 (0.0)	6 (3.4)	
合計	105 (100.0)	71 (100.0)	176 (100.0)	

付表2 NLGR2009イベント会場と保健所検査会(代替検査会、M検2009)
東海地域に居住するMSMの集計結果

	NLGR2009会場 n=284 (%)	保健所検査会 n=152 (%)	合計 n=436 (%)	χ^2 検定 P値
年齢				
10代	9 (3.2)	3 (2.0)	12 (2.8)	<u>0.000</u>
20代	119 (41.9)	49 (32.2)	168 (38.5)	
30代	111 (39.1)	51 (33.6)	162 (37.2)	
40代	35 (12.3)	29 (19.1)	64 (14.7)	
50代	10 (3.5)	1 (0.7)	11 (2.5)	
60代以上	0 (0.0)	1 (0.7)	1 (0.2)	
無回答	0 (0.0)	18 (11.8)	18 (4.1)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
居住地				
名古屋市	123 (43.3)	81 (53.3)	204 (46.8)	<u>0.049</u>
愛知県(名古屋市のぞく)	108 (38.0)	54 (35.5)	162 (37.2)	
岐阜県	22 (7.7)	12 (7.9)	34 (7.8)	
三重県	13 (4.6)	3 (2.0)	16 (3.7)	
静岡県	18 (6.3)	2 (1.3)	20 (4.6)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
性的指向				
男性同性愛者(ゲイ)	244 (85.9)	123 (80.9)	367 (84.2)	<u>0.040</u>
両性愛者(バイセクシュアル)	25 (8.8)	27 (17.8)	52 (11.9)	
トランスジェンダー	2 (0.7)	0 (0.0)	2 (0.5)	
分からない	4 (1.4)	0 (0.0)	4 (0.9)	
決めたくない	6 (2.1)	1 (0.7)	7 (1.6)	
その他	3 (1.1)	1 (0.7)	4 (0.9)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
生涯でのHIV抗体検査受検経験				
あり	211 (74.3)	133 (87.5)	344 (78.9)	<u>0.001</u>
なし	73 (25.7)	19 (12.5)	92 (21.1)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
過去1年間でのHIV抗体検査受検経験				
あり	124 (43.7)	77 (50.7)	201 (46.1)	0.163
なし	160 (56.3)	75 (49.3)	235 (53.9)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
過去6ヶ月間の特定の相手とアナルセックス(タチ)のときのコンドーム使用状況				
常用	78 (60.9)	45 (53.6)	123 (58.0)	0.288
非常用	50 (39.1)	39 (46.4)	89 (42.0)	
合計	128 (100.0)	84 (100.0)	100 (100.0)	
過去6ヶ月間の特定の相手とアナルセックス(ウケ)のときのコンドーム使用状況				
常用	75 (56.4)	38 (48.1)	113 (53.3)	0.242
非常用	58 (43.6)	41 (51.9)	99 (46.7)	
合計	133 (100.0)	79 (100.0)	212 (100.0)	
過去6ヶ月間のその場限りの相手とアナルセックス(タチ)のときのコンドーム使用状況				
常用	79 (66.9)	51 (63.0)	130 (65.3)	0.562
非常用	39 (33.1)	30 (37.0)	69 (34.7)	
合計	118 (100.0)	81 (100.0)	199 (100.0)	
過去6ヶ月間のその場限りの相手とアナルセックス(ウケ)のときのコンドーム使用状況				
常用	71 (63.4)	40 (53.3)	111 (59.4)	0.170
非常用	41 (36.6)	35 (46.7)	76 (40.6)	
合計	112 (100.0)	75 (100.0)	187 (100.0)	

	NLGR2009会場 n=284 (%)	保健所検査会 n=152 (%)	合計 n=436 (%)	χ^2 検定 P値
過去6ヶ月間に利用したもの(複数回答)				
その他のハッテン場(公園など の公共施設)	43 (15.1)	30 (19.7)	73 (16.7)	<u>0.009</u>
PCの出会い系サイトや掲示板 携帯電話の出会い系サイトや 掲示板	120 (42.3)	43 (28.3)	163 (37.4)	<u>0.001</u>
mixi	125 (44.0)	72 (47.4)	197 (45.2)	<u>0.015</u>
mixi ゲイ向けSNS(HuGs、Men's mixi、男子寮など)	208 (73.2)	58 (38.2)	266 (61.0)	<u>0.000</u>
ゲイバー	141 (49.6)	69 (45.4)	210 (48.2)	<u>0.019</u>
クラブ	151 (53.2)	59 (38.8)	210 (48.2)	<u>0.001</u>
ゲイショップ	56 (19.7)	32 (21.1)	88 (20.2)	<u>0.021</u>
その他	78 (27.5)	37 (24.3)	115 (26.4)	<u>0.020</u>
その他	3 (1.1)	1 (0.7)	4 (0.9)	<u>0.021</u>
これまでの行動を振り返って、あなたはHIV(エイズ)に感染する可能性がどのくらいあったと思いますか。				
絶対ない	29 (10.2)	2 (1.3)	31 (7.1)	<u>0.000</u>
ほとんどない	58 (20.4)	37 (24.3)	95 (21.8)	
五分五分	116 (40.8)	27 (17.8)	143 (32.8)	
十分可能性がある	48 (16.9)	59 (38.8)	107 (24.5)	
分からない	23 (8.1)	20 (13.2)	43 (9.9)	
陽性者である	10 (3.5)	0 (0.0)	10 (2.3)	
無回答	0 (0.0)	7 (4.6)	6 (1.6)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
身の回りにHIVに感染した友達、知り合いはいるか				
いる	99 (34.9)	52 (34.2)	151 (34.6)	<u>0.000</u>
いると思う	35 (12.3)	34 (22.4)	69 (15.8)	
いないと思う	58 (20.4)	31 (20.4)	89 (20.4)	
いない	44 (15.5)	9 (5.9)	53 (12.2)	
分からない	48 (16.9)	20 (13.2)	68 (15.6)	
無回答	0 (0.0)	6 (3.9)	6 (1.4)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
ANGLE LIFE NAGOYA のウェブサイト				
見たことがある	76 (26.8)	47 (30.9)	123 (28.2)	<u>0.007</u>
知っている	51 (18.0)	31 (20.4)	82 (18.8)	
知らない	157 (55.3)	69 (45.4)	226 (51.8)	
無回答	0 (0.0)	5 (3.3)	5 (1.1)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
性感染症(STI)勉強会				
参加したことがある	17 (6.0)	12 (7.9)	29 (6.7)	<u>0.002</u>
知っている	79 (27.8)	50 (32.9)	129 (29.6)	
知らない	188 (66.2)	84 (55.3)	272 (62.4)	
無回答	0 (0.0)	6 (3.9)	6 (1.4)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
ANGEL LIFE NAGOYAの配布するコンドーム				
受け取った	117 (41.2)	51 (33.6)	168 (38.5)	<u>0.001</u>
知っている	62 (21.8)	35 (23.0)	97 (22.2)	
知らない	105 (37.0)	58 (38.2)	163 (37.4)	
無回答	0 (0.0)	8 (5.3)	8 (1.8)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
コミュニティーペーパー-h.a.n.a				
見たことがある	51 (18.0)	27 (17.8)	78 (17.9)	<u>0.000</u>
知っている	24 (8.5)	24 (15.8)	48 (11.0)	
知らない	209 (73.6)	95 (62.5)	304 (69.7)	
無回答	0 (0.0)	6 (3.9)	6 (1.4)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	
コミュニティーセンター-rise				
行ったことがある	65 (22.9)	32 (21.1)	97 (22.2)	<u>0.008</u>
知っている	70 (24.6)	32 (21.1)	102 (23.4)	
知らない	149 (52.5)	82 (53.9)	231 (53.0)	
無回答	0 (0.0)	6 (3.9)	6 (1.4)	
合計	284 (100.0)	152 (100.0)	436 (100.0)	